

# 豊かで強靱な まちづくりを目指して

九州大学大学院  
未来共創リーダー  
育成プログラム  
主催シンポジウム

## 脱・緊縮の地方創生の可能性

3.19 2022 sat 17:00~20:00  
開場 16:30

参加  
無料

17:00~17:05 挨拶 三隅一人  
(本プログラム・リーダー・教授)

17:05~17:10 シンポジウム趣旨説明・講師紹介  
施 光恒(本プログラム・サブリーダー・教授)

### 講演

17:10~18:00 「公共投資」と「消費減税」  
による地方再生 藤井 聡(京都大学大学院工学研究科教授)

18:10~18:30 令和の都大宰府から考える地方創生  
～コロナ禍の教訓をいかして～ 楠田大蔵(太宰府市長)

18:30~18:50 「改革」ではなく、国が役割を果たし、  
守り育てる地域再生を  
室伏謙一(政策コンサルタント)

パネルディスカッション 19:00~20:00

藤井 聡、楠田大蔵、  
木下敏之、室伏謙一  
(司会 施 光恒)

現在の大半の「地方創生」の議論は、緊縮財政政策を前提としたものです。新自由主義のパラダイムのもとで緊縮財政が守るべき規範とされ、その下での地方創生策として自治体間競争が煽られ、インバウンド(来日外国人)需要の取り込み、観光立国路線の確立、農業の輸出産業化、各地方の特産品の開発の必要性などが喧伝されてきました。

しかし、本当に緊縮財政を前提としなければならないのでしょうか。緊縮財政のもとで地方創生が本当に可能なのでしょうか。

本シンポジウムでは、緊縮財政路線の妥当性自体を吟味すると同時に、その前提で行われてきた従来の地方創生策の困難さを議論します。また、緊縮策とは別の前提に立った場合の地方創生の可能性について幅広い観点から考えていきたいと思います。

形式 会場+オンライン

要事前申込  
[3/18(金)まで]

お申し込みは本プログラム  
URL <https://gipad.kyushu-u.ac.jp/>  
または右記QRコードから



藤井 聡

京都大学大学院工学研究科教授



楠田大蔵

太宰府市長



木下敏之

福岡大学経済学部教授、元・佐賀市長、  
本プログラム・アドバイザー・  
ボード・メンバー



室伏謙一

政策コンサルタント

